

ご援助とご奉仕 ありがとうございました

◆ご援助いただいた方々 (敬称略・順不同)

(令和2年2月1日～令和2年4月30日)

松本五百子、ユニヴァーサル商事(株)、細江湖東
簡易郵便局、朝妻まゆみ、三洋静岡設備(株)浜松
支店、望月幸人、(一社)学而会代表理事寺岡勝
治、小澤幸栄、河合静子、志村俊身、藤沢俊光、
平野利文、中村まさ子、夏目友治、小野江貞夫、
渥美穎司、鈴木國松、聖隸クリストファー中・高
等学校宗教部、
匿名希望1名、寄付金箱他 合計260,175円



◆ご奉仕のかずかず (敬称略・順不同)

(令和2年2月1日～令和2年4月30日)

●信生寮
名波早苗(華道)、鈴木陽子(喫茶)、高田悦子(音楽療法)、
伊藤サト江(音楽療法)、肥後奈緒子(音楽療法)、
浜松聖星高校未広会、聖隸クリストファー高校るりだの会
●まじわりの家
山岡裕子
●讃栄寮
伊藤たかね(手芸)
●礼拝奉仕者
平井章、大橋新、三輪保志、江間紗綾香、山本克三、
荒川聖志、児玉ゆき子、赤井伸之、竹川雅美、大倉和子、
望月明、高木直雄、長谷川佳子、山本規、平松實人、
浜名明典、小島啓史、石川明彦、村田孝弘、本木隆史

苦情解決報告

聖隸厚生園讃栄では施設の苦情解決を適切に行うことにより福祉サービスの質を高め利用者の満足度や信頼性度を確保・向上させ利用者の権利を守ることを目的として、苦情の受付体制を整えております。

2019年10月1日～2019年12月31日の期間、
公表する苦情はありませんでした。



感染症予防のために、手洗いとうがいを習慣化しましょう！

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、世の中がひっくり返るほど今までにない環境となってしまいました。厚生園もご多分に漏れず行事の中止、面会制限などご利用者にはご不便をおかけしています。みんなで力を合わせ、何事もなくこの騒動を乗り切りましょう！！（Y）

静岡県浜松市北区細江町中川7220-1 電話 053(437)4511 FAX 053(437)4526

●編集:「まじわり」編集委員会 ●編集責任者:村田孝弘 ●後援団体:聖隸厚生園を育てる会

厚生園だより まじわり

152

2020.5 発行

2020年度 事業計画

障害者相談支援事業所ナルドに新生！

New Face 紹介

厚生園の動き

傷ついた葦を折ることなく
ほのぐらい灯心を消すことなく
真実をもって道をしめす
(イザヤ書42章3節)



社会福祉法人 聖隸福祉事業団

聖隸厚生園讃栄 聖隸厚生園信生 聖隸厚生園ナルド工房

2020年度 事業計画

社会福祉法人 聖隸福祉事業団
聖隸厚生園信生

障害者支援施設 聖隸厚生園信生寮 聖隸厚生園まじわりの家
訪問看護ステーション細江 聖隸ケアプランセンター細江 聖隸ヘルパーセンター浜松北

2020年度は、昨年に引き続き医療と介護・福祉の連携強化を行い、利用される方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、一体的な事業展開を目指す。

聖隸厚生園信生寮では、利用者のできることを引き出す支援を行い、一人ひとりの尊厳が守られることを目的に事業を推進する。また働く職員の身体的精神的負担が軽減できるように作業手順や労働環境の抜本的な見直しを行う。

訪問看護においては、「訪問看護ステーション三ヶ日（仮称）」を新規開設し、事業所が少ない三ヶ日町の在宅医療への充実に貢献する。訪問介護や居宅介護支援も障がい福祉分野との連携をさらに強化させ、地域共生社会への実現に向けて事業を推進させる一年とする。

【施設理念】
一人が癒されるために、一人があるべき姿に立帰るために
一人の生命が真にまもり生かされるために、そして地域のために

【経営方針】
1. 利用者の尊厳を守り、利用者主体の支援の提供
2. 地域課題の解決に向けた取り組み
3. 利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造
4. 介護人材の確保と育成の取り組み
5. 災害時対策と地域における公益的な取り組み

【事業・運営計画】

1. 利用者の尊厳を守り、利用者主体の支援の提供
(ア) 身体機能の廃用性や生活意欲の減退を防ぐため、介護過程に基づいた利用者の“できる”を引き出す個別支援計画を策定し、実行する
(イ) 嚥下機能評価を確実に行い、食事形態の見直しを行うとともに利用者の「食べたい」を尊重できる取り組みを行う
(ウ) 虐待防止セルフチェック表を年2回実施とともに、虐待防止委員会では外部評価者を交えて日々の利用者への接遇のあり方を客観的に評価し、利用者の尊厳を守る環境を作る
2. 地域課題の解決に向けた取り組み
(ア) 訪問看護ステーション三ヶ日（仮称）を新規開設し、在宅医療の充実に貢献する
(イ) 聖隸ヘルパーセンター浜松北では、障がい者へのサービス導入をすすめながら、介護保険においては浜松市北区、西区のサービスが不足している地域へのシェア拡大に努める
(ウ) 聖隸ケアプランセンター細江では聖隸三方原病院の病棟カンファレンスに参加して、入退院時の情報交換に努め、ターミナルや医療依存度の高い利用者への対応を強化させる
(エ) 浜松市基幹相談支援センター等の緊急一時入所の要請に応え、地域の虐待防止に貢献する
(オ) 西部特別支援学校からの体験実習を積極的に受け、卒業後に利用者やその家族が求める地域生活ができるように支援計画をしっかりと提案する
3. 利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造
(ア) ノーリフトケアを宣言し、利用者を安全に介助でき、かつ職員の身体的負担の軽減を図る
(イ) 集団感染を予防し、入院することなく生活できるように利用者の健康管理に努める
4. 介護人材の確保と育成の取り組み
(ア) 各専門職ラダーを活用し、職員のできることを引き出す人材育成を行う
(イ) 人事企画部と連携し、EPA介護福祉士候補生の就業・学習支援を強化する
(ウ) 聖隸クリストファー大学・介護専門学校等と連携し、実習及びインターンシップの受け入れを積極的に行い、養成校とともに将来の介護人材の育成に貢献する
5. 災害時対策と地域における公益的な取り組み
(ア) 在宅介護者の不安や負担軽減を目指し、地域住民向けの無料「介護体験講座」を開催する
(イ) 大規模災害への対応ができるように、災害時におけるマニュアルを周知し、定期的に訓練を行う



村田 孝弘

社会福祉法人 聖隸福祉事業団
聖隸厚生園讃栄

聖隸厚生園讃栄寮 生活訓練事業所ナルド 地域活動支援センターナルド
障害者相談支援事業所ナルド 福祉共同住宅ファーストステップ

2020年度は①年齢層、障がいの幅が広がる中で生活支援と地域移行支援の専門性の向上
②サービスの質の確保と向上(2019年度福祉サービス第三者評価事業受審)③浜松市の相談支援体制の再編に伴う障がいに捉われない支援体制構築④在宅サービス等との連携強化により救護施設としての機能強化と地域で暮らしている障がいを抱えた方へのサポートを強化し、地域貢献できる施設を目指します。



久保 篤

【施設理念】

一人が癒されるために、一人があるべき姿に立帰るために
一人の生命が真にまもり生かされるために、そして地域のために

【経営方針】

1. 「やりがい」に着目し自立助長を促す事が出来る利用者主体の支援強化
2. 支援が必要な利用者に対し、それぞれのライフステージにあった支援の提供
3. 障がい者がより自立した生活ができる地域づくりへの貢献
4. 公益的活動における地域貢献等

【事業・運営計画】

1. 「やりがい」に着目し自立助長を促す事が出来る利用者主体の支援強化
(ア) 真のニーズに着目し、「できること」が伸ばせる個別支援計画と外部研修を活用した技術の習得
(イ) 個別支援計画の指導的職員の人材育成
(ウ) 職員が利用者と関わりながら自分で取り組む習慣がつくような生活の環境整備
(エ) 余暇支援・行事を利用者と計画・実施し「自分でもできる」という自信獲得の機会提供
2. 支援が必要なご利用者に対し、それぞれのライフステージにあった支援の提供
(ア) 居宅生活訓練事業における年間3名の地域移行支援
(イ) 在宅障がい者に訪問看護ステーションやヘルバーステーション等と連携強化を図り、支援体制の強化
(ウ) 利用者の意向等を踏まえ、65歳以上の方には高齢者施設、身体動作に課題がある方には身体障がい者施設への移行を推進
(エ) 入居利用者に身体機能低下予防の為のリハビリ・運動機会の提供
(オ) 利用者・職員共に身体的負担を軽減する為の環境整備
3. 障がい者がより自立した生活ができる地域づくりへの貢献
(ア) 行政、病院等との関係機関と連携し、より多くの困っている方の相談にのり全事業契約件数前年度比増
(イ) 浜松市相談支援体制再編後、障害者相談支援事業所「ナルド」として
浜松市北障がい者支援センターとの連携と多様なニーズに対応できる相談体制整備
(ウ) 福祉共同住宅ファーストステップを3戸定員(定員10名)増加し、施設や精神科病院等退院者の地域生活を支える住居支援
(エ) 浜松市障がい者基幹相談支援センターや救護一時入所の積極的な受け入れ
4. 公益的活動における地域貢献等
(ア) 利用者と職員の地域のボランティア活動や地域防災訓練への参加による地域貢献

2020年度 事業計画

社会福祉法人 聖隸福祉事業団
就労支援事業所

聖隸厚生園ナルド工房

2019年度は利用者がやりがいを感じられる就労機会の提供を目標に介護人材のサポート業務を開始することができた。2020年度は、利用者のやりがいをさらに引き出し、利用者に社会の一員であることを体感してもらうことを目標に、施設外へ出たより実践的な就労機会を増やしていく。

また、職員、利用者ともに安全かつ安心して仕事ができる環境を整え、今できていることをさらに磨き上げる“質”にこだわる年と位置付けたい。

多機能型事業所として、利用者の能力や課題に応じたステップアップや再チャレンジの場が提供できる強みを有効に活かし、職員は利用者の個々の障がい特性の理解を深め、利用者の能力に応じた段階的な目標設定をする。利用者にはナルド工房で仕事を通じてより多くの体験を積み重ねてもらうことで、自分のできることを知り、自分の可能性を広げられる支援を実践していく。

【施設理念】 働くことが『生きる喜び』となるように共に歩みます

【経営方針】

- 1.利用者が働くことを通して人から感謝され、様々な経験ができる喜びを体感できる、実践的な就労機会の提供
- 2.多機能型の強みを活かして利用者の能力や課題に応じたステップアップや再チャレンジができる場の提供
- 3.利用者・職員ともに安心感が持てる職場環境の整備と人材育成
- 4.地域における公益的な取組

【事業・運営計画】

1. 利用者が働くことを通して人から感謝され、様々な経験ができる喜びを体感できる実践的な就労機会の提供
 - (ア) 介護補助作業の範囲を広げ多くの利用者が実践的な仕事の経験ができる場を提供する
 - (イ) 菓子販売では利用者がお客様や社会と接する機会を増やし、やりがいをさらに引き出すために企業やイベントの販売へ積極的かつ計画的に参加する
 - (ウ) 施設内作業では仕事の成果を利用者にフィードバックし、日々の目標達成状況を共有することで利用者の就労意欲の向上を図り、施設外へ出る目標を意識した支援をおこなう
 - (エ) 就労移行支援のグループワークの時間や頻度を増やし就労準備の支援を強化する。ソーシャルスキルズトレーニングや企業見学会を企画し、より利用者の就職への意欲向上に結び付く支援をおこなう
2. 多機能型の強みを活かして利用者の能力や課題に応じたステップアップや再チャレンジができる場の提供
 - (ア) 菓子製造では作業工程を細分化し、利用者の能力や特性を活かし、部分的に作業ができる利用者を増やすことで生産性の向上を図るとともに利用者の意欲を引き出す
 - (イ) 相談支援事業所ナルド、生活訓練ナルドと連携し、利用者のステップアップや再チャレンジの仕組みを共有し、利用者に目標設定ができる体制を作る
 - (ウ) 特別支援学校からの実習を計画的に受け入れ、卒業後の進路先として選択されるように生徒や保護者、学校との情報交換を定期的におこなう
 - (エ) 就労定着支援では、職場6ヶ月定着後のスムーズな支援介入をし、企業担当者との連絡を密にしながら継続が困難になってきた方へは再チャレンジの支援を早期におこなう
3. 利用者・職員ともに安心感が持てる職場環境の整備と人材育成
 - (ア) 利用者の障がい特性の理解を深めるための勉強会をおこなう
 - (イ) ラダーと目標参画を連動させた人材育成を図る
 - (ウ) 利用者への関わりを定期的に振り返るため、虐待防止セルフチェックを年2回実施する
 - (エ) 職員が落ち着いて仕事ができるように業務のムリ・ムダを整理し、業務分担を明確にする
4. 地域における公益的な取組
 - (ア) 高齢者デイサービス利用者の外出機会提供の場として喫茶を開放し、お菓子教室を開催する



長谷川 展之

相談支援事業所ナルド、相談支援事業所信生が統合し、「障害者相談支援事業所ナルド」として再出発。

2020年4月1日、浜松市から受託している障がい者相談支援事業が再編され、市内5か所で相談受付を行うようになりました。浜松市北区においては、相談支援事業所ナルド、相談支援事業所信生の受託から北区役所3階で社会福祉法人小羊学園、社会福祉法人 聖隸福祉事業団の共同運営となりました。この再編に伴い、相談支援事業所ナルド、相談支援事業所信生は「障害者相談支援事業所ナルド」として統合し、再出発いたしました。相談によって、その方の置かれている状況や困り事、課題をアセスメントし、その方に合った福祉サービスの提案、利用につなげます。相談にあたる職員は相談支援専門員、社会福祉士等の専門資格を持ち、研修などに参加し、日ごろから皆様のご相談に対応できるよう日々研鑽を重ねています。

身体、知的、精神、難病、児童の障がいを持つご本人はもちろん、ご家族の方も気軽に相談していただける事業所を目指しています。お一人お一人の歴史や家庭環境、性格が違うように、求められる支援は多様となります。

ご本人の気持ち、ご家族の意見に寄り添う相談支援に心がけております。

ご相談の内容によっては専門機関(行政、浜松市障がい者相談支援センター、基幹相談支援センター、福祉施設、医療・保険機関)への紹介をいたします。

障がいを持ちながら地域生活をする方が、持てる力を發揮し、地域社会の一員として自分らしく生活できるように支援します。



浜松市北障がい者相談支援センター

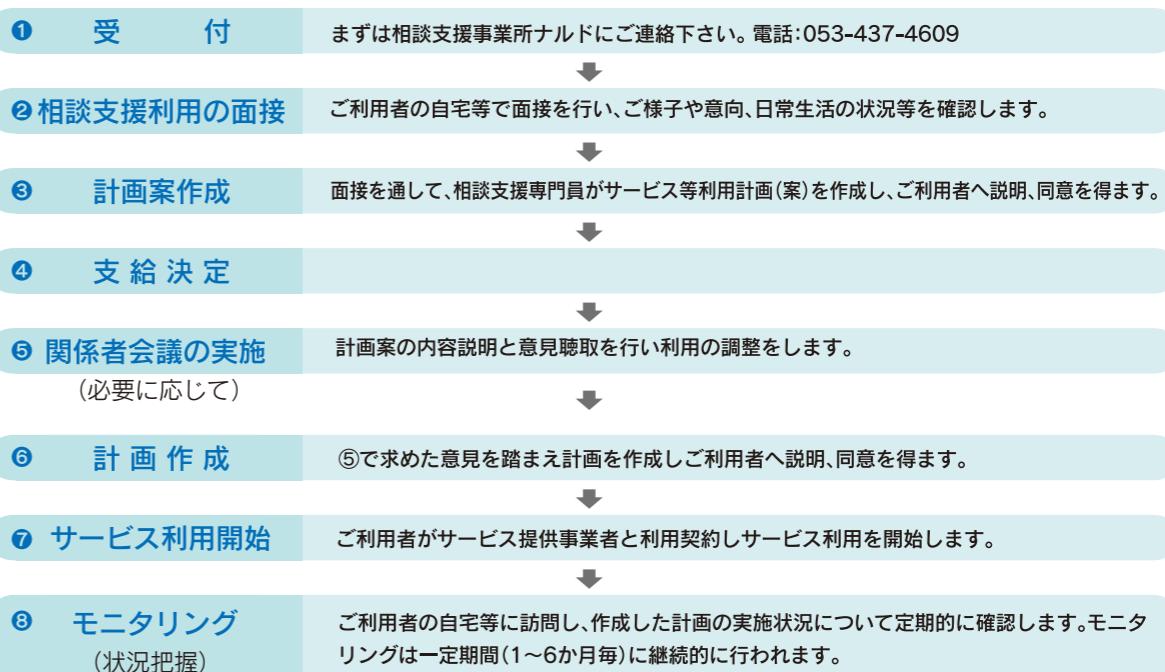


障害者相談支援事業 ナルド

相談支援事業所ナルドがお手伝いできること

例えば… ●自分に合った福祉サービスを見つけたい ●日中の過ごす場所がほしい ●働きたい 等々

ご希望の時にご相談下さい



New Face 紹介

この4月からチーム厚生園に加わった新しい仲間をご紹介いたします！

アンケート内容

- ① 趣味を教えてください。
- ② 好きな季節は？その理由も教えてください。
- ③ ひとことメッセージを！

信生寮栄養部門

坪井 さきえ



- ①料理と子ども。
今年は運動で体力もつけたいです。
②春と秋。自然の中で過ごしたいです。
③美味しい食事で、皆さん元気に過ごせるよう頑張ります。

信生寮事務部門

工藤 美穂



- ①旅行
②秋 過ごしやすくなるので
③早く仕事を覚え一生懸命頑張りますので宜しくお願ひします。

地域活動ナルド 外山 貴愛

- ①ショッピング
②秋 気温が好き
③ご利用者の気持ちに寄り添った支援を心がけていきます。宜しくお願ひします。

信生寮 月光 村松 卓実



- ①旅行
②秋、きれいな風景が好きで、特に神社やお寺から見える風景が好きだから。③精一杯頑張ります。宜しくお願ひします。

訪問看護細江兼譲

橋本 裕恵



- ①テニス、犬と遊ぶ②秋、美味しい食物が楽しみ。
③浜北愛光園から異動してきました。「人の思い」を大切にして精進します。宜しくお願ひします。

ケアプラン細江

石塚 ひろみ



- ①山登り
②夏 山登りシーズンだから
③新たな地域で新たな出会い。楽しみです。宜しくお願ひいたします。

信生寮 月光

河口 和一



- ①オートバイでツーリング他多数 ②冬～夜空がきれい③ご利用者のお一人お一人から学び、そして寄り添えるよう頑張ります。

信生寮 月光

白柳 博樹



- ①野球、水泳、音楽(ロック)鑑賞。②秋。アレルギーが一番少ないので…。
③初めまして。これから皆様の生活に寄り添えるよう頑張ります。

信生寮看護室

加藤 弓子



- ①スポーツ観戦
主にサッカー②春ですが花粉症はちょっと辛いです。③おおぞら療育センターから異動してきました。初心に帰り学んでいきます。

生活訓練ナルド

牛田 玲子



- ①読書、映画鑑賞
②秋、食物の美味しい季節ですね。③14年半ぶりの厚生園です。お久しぶりの方も初めての方も、宜しくお願ひします。

信生寮 朝光

岡本 晃輔



- ①子供と遊ぶ事。
②夏、花粉症が落ち着くから
③わからないことばかりですが12年ぶりの浜松なので楽しんで仕事をしていきます。

信生寮 朝光

金田 智成



- ①ドライブ
②秋、過ごしやすいため。
③新人であり、わからない事ばかりですが、よろしくお願ひします。

厚生園の動き

新型コロナウイルスの影響で、各種行事が多数中止となりました。また学校閉鎖に伴い、4月より信生寮にて施設内学童保育を始めました。

2月 FEBRUARY

- 2日 介護体験講座(信生寮)
4日 AED勉強会(信生寮)
5日 節分企画(信生寮)
21日 第30回西部地区救護施設親睦カラオケ大会(浜北文化会館)(譲栄寮)
26日 防災訓練(譲栄寮)

3月 MARCH

- 4日 避難訓練(信生寮)
17日 おやつ企画(ホットケーキ作り)(譲栄寮)
23日 防災訓練(譲栄寮)

4月 APRIL

- 4日 ソフトボール練習(譲栄寮)(墓地公園グラウンド)
5日 防災訓練(消防設備訓練)(信生寮)
10日～ 施設内学童(信生寮)
27日 防災訓練(譲栄寮)

●ナルド工房 定期販売

- ・浜名湖エデンの園販売(第2水曜日)(第4水曜日)
・株エコム (第3水曜日)
・和合愛光園販売 (第1木曜日)
・いなざ愛光園販売 (偶数月の第3金曜日)

おやつ企画



AED勉強会



介護体験講座



おやつ企画



AED勉強会



マスク作り



施設内学童



カラオケ大会

